

現場
代理人
レポート

那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事

本工事は、国営那珂川沿岸農業水利事業の一環として施工するもので、茨城県水戸市三の丸地内に位置する現在稼働中の大杉山揚水機場の老朽化に伴う新設工事です。当施設は、一級河川那珂川より水を汲み上げ、農業用水として供給するもので、地域の基幹産業を支える重要なインフラ施設です。現在、吸水槽の基礎となる場所打ち杭をオールケーシング工法で施工しており、安全面については、JR水郡線沿線につき、自動計測による動態観測を行い、重機作業に制限を設けるなど、列車の運行と作業の安全確保に努めています。また、周囲は閑静な住宅



街であり、近隣住民への工事説明等、監督職員の皆様のご指導の下、各種対策を講じております。複数の幼稚園から小中高校や病院が併設されており、騒音・振動等により周辺環境を乱さぬよう、低公害型工法の採用、騒音・振動・水質等の環境測定を行っています。今後、土木本体工事、建築工事から排水構造物や擁壁、舗装等の施工を終え完成となります。引き続き現場従事者一丸となり無事故無災害を目標とし、新たな大杉山揚水機場が、これからも地域住民の皆様にも末永く利用してもらえよう、品質の良いものづくりに努めて参ります。

監督職員からのエール

本事業の主要取水施設である大杉山揚水機場は、老朽化した現機場をJR水郡線を挟んで西側に場所を移し改修する工事です。水戸駅近くの市街地内の狭小な現場で、朝夕は一般車両や通学者の通行が多く、安全対策など特に配慮が求められます。

現場では、場所打ち杭や既製杭、建築工事などのいくつかの工程で大型クレーン作業があり、強風時の作業中止や列車の監視、高架橋の動態観測などJR運行の安全対策が求められる一方、限られた作業スペースの中で、工事が安全に進捗するよう管理しなければなりません。

このような環境の中で、場所打ち杭の作業期間中、真夏のような天気が続いた時期がありましたが、温厚で気配りの効く高石所長は、自らミスト付きサーキュレーターを現場に配置し、また、作業員の見やすい位置にWBGTの表示板を配置するなどして、作業員の健康に対しても配慮を欠かしません。

これからも、工事を進めるに当たり生じる課題に対して、着実に対応していただけないと思いますので、発注者と受注者がOne Teamとなって、互いに補いながら知恵を出し、このまま無事故・無災害で竣工できることを願っています。

現場代理人

(写真左) 株式会社新井組

大杉山機場作業所 高石 浩明

監督職員

(写真右) 関東農政局那珂川沿岸農業水利事業所

技術専門官 大室 智史

